

なるほど! ICT

第4号

令和4年6月29日発行
ICT活用推進委員会

ICT 活用事例の紹介

■ 中学部2年「宿泊学習に行こう」

今年度、中学部2年は大曲支援学校と交流しています。この学習では、遠隔交流の時に披露する予定の「増田の内蔵」クイズのスライドを作成しました。昨年度学習で使用したアプリとは異なるプレゼンテーション用アプリ（Keynote → Google スライド）を使って作成しましたが、基本の操作は類似しているため、既習の知識を生かして作成を進めることができました。また、他の生徒が作成したスライドを手元で共有することで、お互いのがんばりを確認し、評価し合うことができました。スライドやボードを共有して一緒に作成したり、閲覧したりする方法は様々ありますが、本校の現在の環境では、「Google スライド」「Google Jamboard」等が比較的容易です。設定、使用方法については ICT 活用推進担当までお問い合わせください。



6月の遠隔交流の様子です。



増田の内蔵を見学しました。



グループで作成しました。

児童生徒の健康への配慮について

ICT 機器、特にスマートフォンやタブレット端末を使用する際に、健康面への配慮はとても大切です。使いすぎは視力低下や頭痛、めまい等の様々な健康被害に繋がることを十分に考慮して、効果的に活用しましょう。「1 単位時間 10 分まで」と制限を設けている学校もあるようです。

また、スマホ依存症の罹患者が年々増加の傾向にあります。休み時間等での活用はルールを決め、家庭としっかりと連携を取って行うようにしましょう。

文部科学省の「端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット」には児童生徒向けの「使用上の約束」として、右の5点が挙げられています。学級のルールづくりや情報モラルの指導にご活用ください。

上記の文部科学省のサイトは、右のQRコードか、業務系のICT活用推進委員会にあるリンクから閲覧できます。



タブレットを使うときの5つの約束

□ タブレットを使うときは姿勢よく

・タブレットを見るときは、目を30cm以上、離しましょう。



□ 30分に1回はタブレットから目を離す

・30分に1回はタブレットの画面から目を離して、20秒以上、遠くを見ましょう。



□ 寝る前にはタブレットは使わない

・ぐっすり寝るために、寝る1時間前からはデジタル機器の利用は控えましょう。



□ 自分の目を大切にする

・時間を決めて遠くを見たり、目が乾かないようにまばたきをしたりして、自分の目を大切にしましょう。



□ ルールを守って使う

・1分使ったら1回中断する、学校のタブレットは学習に関係のないことに使わないなど、学校や家庭のルールを守って使いましょう。

